

ロベルト・杉浦 (ヴォーカル)

1970年名古屋生まれ。19歳でタンゴ歌手としてプロデビュー。1993年本場アルゼンチンに渡り現地のミュージシャンらと各地で共演するうちにアルゼンチンでも評判となりタンゴ歌手の大御所ロベルト・ルフィーノに認められ「ロベルト」の名前を与えられる。1997年バンドネオン奏者にネストル・マルキーニを迎え、タンゴのCD「ロベルト・杉浦/レメンブランザ」をリリース。2000年アメリカUNIVISION局のスペイン語圏の人々1億人が観ている超人気番組「SABADO/GIGANTE (サバド・ヒガンテ)」(世界長寿番組としてギネスに登録)にレギュラー出演をし確かな歌唱力、コミカルな司会、及び数々のコントにおける演技力により「サバド・ヒガンデ賞」を受賞。この間チリ・ベネズエラ・コロンビア・など全南米スペイン語圏で主要テレビに出演を続け、本名の「タカフミ」の愛称でゴールデンタイムの顔になる。グラミー賞にノミネートされたネルソン・ゴンザレスとボレロのCDをリリース。これを記念に日本でも公演。又、メキシコ音楽であるマリアッチ・ランチェラも歌い始める。2010年ビクターエンターテインメントより「ダメウンベソ」(阿木燿子作詞・アンドレス・デ・レオン作曲)をリリースし、日本でメジャーデビューを果たす。現在は国内での活動に切り替え全国展開を開始している。

東谷健司 (あずまやけんじ) コントラバス

三重県鈴鹿市出身。オルケスタ・デ・タンゴワセダ1991年バンドリーダー。早稲田大学在学中、赤坂にあったタンゴラウンジ「ノスタルヒアス」専属コントラバス奏者として抜擢され、アルゼンチンより来日したトップアーティストたちと共演、研鑽を積む。1996年ピアニスト熊田洋と、タンゴデュオ「エル・タンゴ・ビーボ」を結成、活動中。現在、タンゴ楽団「オルケスタ・アウロラ」のメンバー。また、あがた森魚氏のサポートミュージシャンとしても活動し、ライブ演奏や、最新アルバム『浦島65BC』の録音等に参加。

青木菜穂子 (あおきなおこ) ピアノ

東京都出身。武蔵野音楽大学ピアノ科卒業後アルゼンチンに渡り、ニコラス・レデスマに師事。2年間現地の市立楽団「オルケスタ・エスクエラ・デ・タンゴ」のピアニストとしてTVやRADIOをはじめ数々の場で演奏。帰国後自己のグループを率いて活動しその後も度々渡亜。ブエノスアイレス国際フェスティバルやチリのバルパライソで行われた世界タンゴサミット、アメリカオレゴン州のバレンタンゴフェスティバル、また世界各国から10人のピアニストを集めたバンクーバーでの10グランズ・ピアノコンサートに参加等様々な国際音楽祭に出演。自己作品は『ティエラ・ケリーダ』('05)『ブエノスアイレス・ミ・レフーヒオ』('06)をBishop Recordsより発表。2008年ヴァイオリンの会田桃子と共に「オルケスタ・アウロラ」を結成し『プエルト・ア・プエルト』('09)『バボ・エル・シエロ・デ・ブエノスアイレス』('10)、『ピアノラ...愛』('13)の3枚をLatinaよりリリース。これまでに数多くの国内外のアーティストと共演した作編曲にも力を注ぐ。2009～2011年、アメリカ・フランス・アルゼンチン・ウルグアイ・カナダで公演、力強さと繊細さをあわせもつ鍵盤で定評を得ている。

